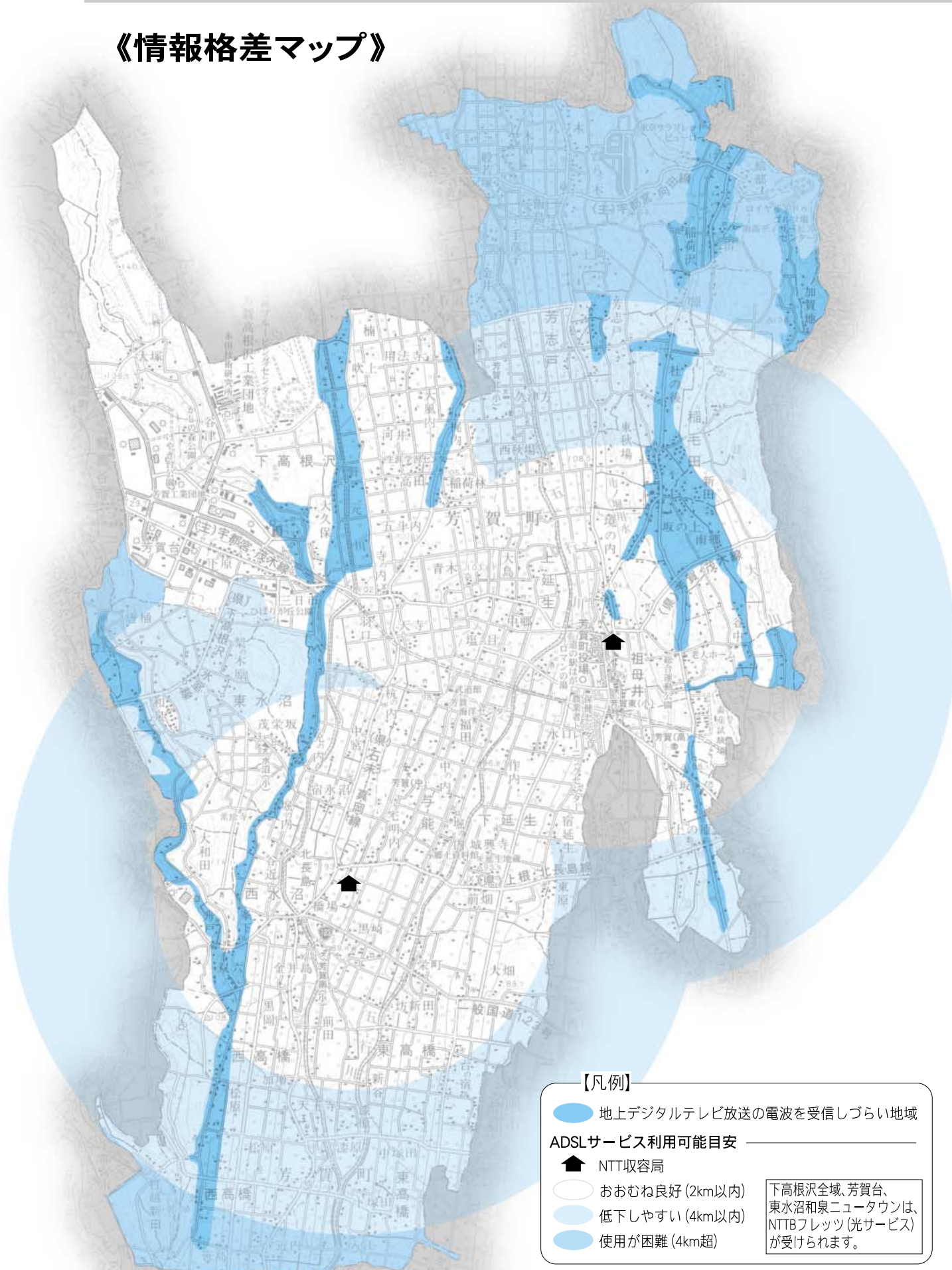


今、町内で起きている 情報格差

～第1回～

現在、町で計画している「光の道整備事業」。この事業は、役場を中心とした公共施設を光ファイバ(※1)で結び、さらに各世帯への引込みも行い、町内がひとつの光ネットワークで結ばれるというものです。そこでは、デジタルテレビ放送やインターネットの高速通信をはじめとして、映像や通信において地域独自のサービスを展開していくことが可能になります。
また、この事業により、町内の情報格差を解消するという目的もあります。
第1回目は、その「情報格差」について現状をお伝えします。

《情報格差マップ》



【凡例】

- 地上デジタルテレビ放送の電波を受信しづらい地域
- ADSLサービス利用可能目安
- ▲ NTT収容局
- おおむね良好(2km以内)
- 低下しやすい(4km以内)
- 使用が困難(4km超)

下高根沢全域、芳賀台、東水沼和泉ニュータウンは、NTTBフレッツ(光サービス)が受けられます。

※このエリアマップは、あくまで目安として示したものです。よって、エリア内すべてが対象地域と特定していません。

今、町内で起きている 情報格差とは？

①地上デジタルテレビ 放送が見られない地域

全世帯の約1割が見られなくなる可能性



2011年(平成23年)7月23日
アナログテレビ放送終了

町独自調査によれば、2011年7月のアナログテレビ放送終了後、デジタルテレビ放送対応のアンテナ・チューナーを設置しても約1割(500世帯)の家庭で電波障害によりテレビが見られない可能性があります。(左ページ参照)
これまで当たり前のように見ていたテレビが見られないということとはとても重大なことです。

② どうして見られないの

受信できない大きな理由として、山や森などが壁となり電波を受信しづらくしていることが考えられます。
【デジタル波の特性】
デジタル波は画質は良いが、アナログ波に比べて直進性が強く、障害物には極端に伝達性能が落ちてしまうこと。
【自宅から地上デジタルテレビ放送が見られるか確認する方法】
簡単な確認方法として、自宅の外でワンセグ携帯電話からテレビを見ることができればとりあえず受信可能と思われる。



デジタルテレビ放送を見るためには

※全国一斉にデジタル放送に切り替わるのは2011年7月23日ですが、芳賀町では既にデジタルテレビ放送対応地域であり、受信可能です。